

3月・4月 開館カレンダー

休館日

北千里児童センター						
3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

北千里地区公民館						
3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

北千里図書館						
3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

北千里児童センター 午前10時～午後6時
休館日 年末年始・施設点検などによる臨時休館あり

北千里地区公民館 午前10時～午後10時
休館日 毎週火曜日 祝日の翌日 年末年始

北千里図書館 午前10時～午後8時
休館日 毎月最終火曜日 年末年始 特別整理休館日

最寄駅 阪急電鉄千里線「北千里駅」徒歩3分 阪急バス「阪急北千里駅」徒歩3分

Event Information

◆ バリアフリー映画 「おしりたんてい さらば愛しき相棒」

日時：3/31(月) 4/1(火)
14:00-15:30

場所：視聴覚室
定員：各日30名
※車いす・ベビーカー入場可
申込：不要

※バリアフリー映画とは、字幕や音声ガイドを使って、聞こえにくい方や見えにくい方も一緒に楽しめる映画です。

◆ 作家 伊与原新さん 講演会

日時：4/12(土) 14:00-15:30

場所：会議室1-3

定員：先着100名

申込：申込フォーム

受付期間：3/1(土)10:00-

NHKドラマの原作となった「宙わたる教室」の著者に、子どもの頃の吹田での思い出や作品に込めた思いをお話しいたします。

◆ 弁護士に聞く 遺言書の書き方

日時：4/13(日) 10:30-12:00

場所：視聴覚室

定員：先着30名

申込：電話 06-6834-2921

FAX 06-6155-8278

※FAXの場合は講座名・参加される方の氏名・電話番号をご記入ください。

受付期間：3/7(金)10:00-

相続問題に詳しい弁護士が遺言書作成のポイントを分かりやすく解説します。

＼まちなかりビング北千里ニュースレター／

MACHIKITA DAYS

北千里の「時」と「人」をむすぶ 開かれた暮らしの中の交流拠点

3月号

2025/3/1発行



まちなかりビング北千里

今月の表紙「早朝のまちなきたテラス 1日のはじまり」

まちなきたクロストーク開催

まちなきた子育て応援企画 いつもこどものかたわらに／チャイルドラインすいた 伊東利幸さん

まちなきた「学び人」の哲学に迫る わたしの学び哲学／不登校ひろば@吹田 井上晶子さん

まちなきた図書館員の偏愛本棚／生きるヒントいただきました！



まちなかりビング北千里

〒565-0874 大阪府吹田市古江台3丁目8番1号

代表電話・北千里地区公民館

北千里児童センター

北千里図書館

指定管理者 TRC北千里共同事業体

URL:https://machikita.jp Instagram:@machikita.jp

MACHIKITA DAYS 3月号 (2025年3月1日発行) 編集発行：指定管理者 TRC北千里共同事業体

この冊子は400部作成し、1部当たりの単価は20.4円です。



WEB SITE Instagram

第2回まちなきたクロストーク開催

「まちなきたクロストーク」は、社会で活躍中の吹田市出身・在住の人々が吹田市に暮らす人々に向けて、子育てのこと、学びのこと、生き方のことなどを語りつくすイベントです。2月11日(火)に開催した「まちなきたクロストーク～子どもの居場所～」では不登校ひろば@吹田代表の井上晶子さん、チャイルドラインすいた副代表の伊東利幸さんをお招きし、お話を伺いました。



イベント後半には、フリートークの時間を設け、参加者同士の意見交換が行われました。また、講師の方が丁寧に質問に答えてくださり、参加して良かった、悩みが解消されたとの感想もいただきました。今回のイベントを通して、子供も保護者も家庭・学校・職場以外の居場所を持つことの重要性を学びました。



第12回 子育ての不易と流行

子育て渦中の皆さんの多くがSNSへの対応を苦慮されていることをよく聞きます。オーストラリア政府が年齢制限の政策を実施することから、日常的な時間制限等の対処療法を否定しません。それでも教えていうならば親世代より子どもたちの方がSNSへの対応能力は強いのです。であればそれ以前に「していいこと、してはいけないこと」を明確に子どもたちに伝えることが大切であり、それを保護者自身が実行することで、子どもとの距離感の参考になればと、次の言葉を送ります。

- 「乳児は肌を離すな 幼児は肌を離して手を離すな 少年になったら手を離して目を離すな 青年期に入ったら目を離して心を離すな」

まちなきた子育て応援企画
いつも、こどものかたわらに
第12回「あの人」はチャイルドラインすいた副代表 伊東利幸さんです。いつもこどものかたわらに居るあの人がかつての成長や子育ての疑問に答える連載企画。



チャイルドラインすいた副代表 伊東利幸さん

まちなきた図書館員の偏愛本棚

北千里図書館の図書館員たちが「本当に好きな本」「読んで欲しい本」だけを毎月紹介し、読者のみなさまを、まだ見ぬ読書の世界へと誘うコーナーです。すべての本は、吹田市内の図書館に所蔵しています。

今月のテーマ
生きるヒントいただきました！

01
置かれた場所で咲きなさい
渡辺和子 / 著 幻冬舎

順風満帆な人生などない
30代半ば、修道者でありながら、大学学長に任命された著者。重責を担う中、うつ病を患うなど、数々の苦難を乗り越えた末の気づきがたくさん詰め込まれている作品。自分の意に反する状況でも、自分の花を咲かせるために、時には自分が変わらなくてはならないことを教えてくれた。



02
夜明けを待つ
佐々涼子 / 著 集英社インターナショナル

著者の原点がここにある

昨年逝去したノンフィクション作家のエッセイ&ルポルタージュ集。中でも、難病の妻を介護の末看取り、喪失感乗り越え、今を楽しみ生きるご尊父の姿が印象的。幸福 위해서는 強い意志が必要という言葉に勇気と希望が湧いてきた。人生のお手本にしたい。



03
くまとやまねこ
湯本香樹実 / 文 酒井駒子 / 絵 河出書房新社

モノクロームの絵に優しく包まれて

仲良しのこりに先立たれたくま。悲しみのあまり、こりの亡骸を小箱に入れ引きこもってしまう。偶然出会ったやまねこの思いやりで満ちた言葉とバイオリンの音色が、閉ざされたくまの心を少しずつほぐしていく。自分のペースで喪失と向き合えば、いつか再生につながることを示してくれた。



まちなきたの「学び人」の哲学に迫る 「わたしの学び哲学」 「まちなきたクロストーク～子どもの居場所～」でご協力いただいた不登校ひろば@吹田 井上晶子さんの「学び哲学」に迫ります！

【File21】 不登校ひろば@吹田 井上 晶子さん



■ 不登校ひろば@吹田を立ち上げたきっかけを教えてください

2021年、当時小学3年生だった息子が不登校になりました。どうすればいいのか分からずとにかく不安で、不登校関連の情報を検索する日々でしたが、私が一番聞きたかったのは同じ経験を持つ方のお話でした。気軽に参加できそうな親の会を探しましたが、なかなか見当たらず「それなら自分で作ろう！」と思い立ち上げました。

■ 活動をする中でどんな時にやりがいを感じますか

毎月1回、対面でお話する「おはなし会」を開催していますが、初めは緊張した様子で来られた方が、帰られる時は笑顔になり「楽しかったです♪また来たいです！」と言って下さった時に「やって良かったな」と思います。『吹田が一番楽しくて優しい親の会』を目指しているので、保護者の方が笑顔や安心した表情を見せて下さった時には、とても幸せな気持ちになります。

■ 今後の目標や挑戦してみたいことは何ですか

今はSNSで情報発信をしたり、対面でのおはなし会を開催していますが、もっと多くの方に届けられるように「音声」での発信をやりたいなと思っています。また、地域の方や当事者以外の方にも不登校のことを知って頂けるように、講演会や勉強会の実施にも力を入れていきたいです。

■ 不登校の子を持つ保護者の方と接する際に心掛けていることはありますか

不登校の子を持つ保護者は、周囲から理解を得られなかったり、元気に登校する子の話を聞くのが辛くなったりして、それまでのコミュニティから距離を置く方も多くいらっしゃいます。孤独と不安を抱えながらも、繋がり求めて勇気を出して来て下さっていると思うので、とにかく安心してお話できる環境作りを心掛けています。

■ おすすめの本を教えてください

今じんこさんの「学校に行かない君が教えてくれたこと」です。不登校親子の葛藤や苦しみがいリアルに描かれたコミックエッセイです。「不登校の鎧を脱ぐ」とはどういうことなのか。当事者以外の方にも読んで頂きたい一冊です。もう一冊のおすすめの本は、西野博之さんの「学校に行かない子どもが見ている世界」(KADOKAWA)です。同じエピソードを「親視点」「子ども視点」で紹介、解説されています。これを読むと、立場が違えばこれだけ見える世界が違うんだということに気づかれます。不登校の子どもの気持ちを知りたい！という方におススメです。



学校に行かない君が教えてくれたこと 今じんこ / 著 オーバーラップ